



平成 24 年 9 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社小僧寿し
代表者名 代表取締役社長 木村 育生
(JASDAQコード 9973)
問合せ先 取締役管理本部長 平岡 晋一
(電話番号 03-6226-4400)

株式会社札幌海鮮丸の簡易株式交換による 完全子会社化に関するお知らせ

株式会社小僧寿し（以下「当社」または「小僧寿し」という。）は、平成 24 年 9 月 11 日開催の当社取締役会において、平成 24 年 10 月 31 日を期して、下記のとおり株式交換により株式会社札幌海鮮丸（北海道札幌市 代表取締役社長：松原 淳二 以下「海鮮丸」という。）を完全子会社とすることを決議し、海鮮丸と株式交換契約を締結することといたしましたので、お知らせいたします。なお、当社は、会社法第 796 条第 3 項の規定に基づき、株主総会の承認を必要としない簡易株式交換の手続きにより、本株式交換を行う予定です。

記

1. 株式交換による完全子会社化の目的

当社は、創業以来、お客様第一、顧客起点での経営を実践し、日本一安くておいしいお寿しの販売に努めてまいりましたが、昨今の厳しい経営環境下においても、安くておいしいものを求めるお客様のニーズは上昇の一途であり、求められるサービスも多様化しております。投入可能なコストが限られる中、創意工夫により顧客起点のサービスの向上を図るためには、小僧寿し、海鮮丸、そして新たに設立した株式会社茶月東日本の店舗「茶月」におけるノウハウを結集し、持ち帰り寿しと宅配寿しの垣根を越えたグループ経営におけるシナジー効果の最大化が不可欠と考えております。このような政策の下、この度海鮮丸を完全子会社化することを決定いたしました。今後も機動的で自立性の高い運営の下、地域性を加味した宅配サービスの提供に注力いただくとともに、グループ全体の収益の向上にも貢献してまいります。

2. 株式交換の要旨

(1) 株式交換の日程

株式交換決議取締役会（両社）	平成 24 年 9 月 11 日（火）
株式交換契約締結（両社）	平成 24 年 9 月 11 日（火）
株式交換承認臨時株主総会（海鮮丸）	平成 24 年 9 月 23 日（日）（予定）
株式交換の予定日（効力発生日）	平成 24 年 10 月 31 日（水）（予定）

（注）当社は、会社法第 796 条第 3 項に基づく簡易株式交換の手続きにより、株主総会の承認を受けずに本株式交換を行う予定です。

(2) 本株式交換の方式

本株式交換は、当社を株式交換完全親会社、海鮮丸を株式交換完全子会社とする株式交換となります。本株式交換は、完全親会社となる当社については会社法第 796 条第 3 項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより、会社法第 795 条第 1 項に定める当社株主総会の承認を受けずに、完全子会社となる海鮮丸においては平成 24 年 9 月 23 日開催予定の臨時株主総会において承認を受けたうえで、平成 24 年

10月31日を効力発生日として行う予定です。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

会社名	株式会社小僧寿し (株式交換完全親会社)	株式会社札幌海鮮丸 (株式交換完全子会社)
株式交換に係る 割当ての内容	1	581

(注1) 海鮮丸の普通株式1株につき、当社の普通株式581株を割当て交付します。ただし、当社が保有する海鮮丸2,000株については、本株式交換による株式の割当ては行いません。

(注2) 当社は、本株式交換により普通株式232,400株を海鮮丸株主に対して割当て交付いたしますが、交付する株式には、全て当社が保有する自己株式を充当いたします。

(4) 本株式交換完全子会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

海鮮丸においては、新株予約権及び新株予約権付社債をいずれも発行していません。

3. 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

(1) 算定の基礎

本株式交換における株式交換比率については、その算定にあたって公正性・妥当性を確保するため、当社はグラントソン太陽 ASG 株式会社（以下「GT」という。）を、株式交換比率の算定に関する第三者算定機関として選定いたしました。

GT は、株式価値の算定に際して、当社の株式価値については市場価格平均法を、海鮮丸については、類似会社比較法を採用し、これらの評価結果を勘案した株式交換比率の算定結果を当社に提出いたしました。

GT は、株式交換比率の算定に際して、両社から提供を受けた情報及び一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、採用したそれらの資料及び情報等が、すべて正確かつ完全なものである事を前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っていません。また、両社とその関係会社の資産及び負債（偶発債務を含みます。）について、個別の各資産及び各負債の分析及び評価を含め、独自に評価、鑑定または査定を行っておらず、第三者機関への鑑定または査定の依頼も行っていません。加えて、両社の財務予測については、両者の経営陣により現時点で得られる最善の予測と判断に基づき合理的に作成されていることを前提としております。なお、GT が助言を行った両社の株式価値の算定結果は、本株式交換に係わる割当ての公正性・妥当性について意見を表明するものではありません。

(2) 算定の経緯

当社は、GT から助言を受けた上記株式価値の算定結果を参考に、株式交換比率について検討を行い、海鮮丸との交渉に臨みました。その結果、当社および海鮮丸は、海鮮丸の普通株式1株につき当社の普通株式581株を割当て交付する株式交換比率が妥当であると判断し、それぞれの取締役会において、本株式交換に基づいて交付される対価及びその比率につき決定いたしました。なお、株式交換比率は、その前提となる諸条件について重大な変更が生じた場合、当社と海鮮丸との間で協議により変更することがあります。

(3) 算定機関との関係

GT は、当社及び海鮮丸の関連当事者には該当いたしません。

(4) 利益相反を回避するための措置

海鮮丸の取締役会長である、矢代秀己氏は、当社の取締役会長を兼務していることから、利益相反を回避

する観点から、本簡易株式交換に係る海鮮丸の取締役会の審議及び決議に参加しておりません。また、平成24年9月11日開催の海鮮丸の取締役会においては、取締役3名のうち矢代秀己氏を除く出席取締役2名全員の賛成により、本株式交換契約を締結することを決議しております。

4. 株式交換当事会社の概要

(1) 名 称	株式会社小僧寿し (株式交換完全親会社)	株式会社札幌海鮮丸 (株式交換完全子会社)
(2) 事 業 内 容	寿し、弁当の製造販売、なら びに小僧寿しのフランチャ イザーとして 加盟者に対す る原材料の供給と指導	寿司の製造、販売 出前専門店「札幌海鮮丸」のチェー ン店経営
(3) 設 立 年 月 日	昭和47年2月18日	平成8年2月20日
(4) 本 店 所 在 地	東京都中央区築地 三丁目9番9号	札幌市東区伏古8条 3丁目6番23号
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 木村 育生	代表取締役社長 松原 淳二
(6) 資 本 金 の 額	1,598,501,170 円	110,000,000 円
(7) 発 行 済 株 式 数	14,109,939 株	2,400 株
(8) 純 資 産	2,373 百万円 (連結)	202 百万円 (単体)
(9) 総 資 産	6,416 百万円 (連結)	1,120 百万円 (単体)
(10) 事 業 年 度 の 末 日	12 月 31 日	12 月 31 日
(11) 従 業 員 数	359 名 (連結)	187 名 (単体)
(12) 主 要 取 引 先	マリンフーズ株式会社、 極洋商事株式会社、 東洋冷蔵株式会社、 その他	マリンフーズ株式会社、 東洋冷蔵株式会社、 ホシザキ北海道株式会社、 その他
(13) 大株主及び持株比率	イコールパートナーズ株式会社 37.15% あかつきフィナンシャル グループ株式会社 8.72%	株式会社小僧寿し 83.33%
(14) 主 要 取 引 銀 行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社三井住友銀行	株式会社北洋銀行
(15) 当事会社間の関係等	資 本 関 係	議決権比率 83.33%。
	人 的 関 係	1名の取締役会長、1名の監査役を派遣しております。
	取 引 関 係	ロイヤリティ受取、商材販売の取引があります。
	関連当事者への該当状況	連結子会社です。

(16) 最近 3 年間の業績						
	株式会社小僧寿し (完全親会社) (連結)			株式会社札幌海鮮丸 (完全子会社) (単体)		
	平成 21 年 12 月期	平成 22 年 12 月期	平成 23 年 12 月期	平成 21 年 12 月期	平成 22 年 12 月期	平成 23 年 12 月期
売上高	24,648	22,354	20,447	4,710	4,481	4,334
営業利益	228	△398	△140	93	25	△8
経常利益	355	△314	△91	99	31	△0
当期純利益	60	△766	△907	49	6	△52
1 株当たり当期純利益 (円)	4.64	△59.14	△70.70	20,560.64	2,620.45	△21,930.95
1 株当たり配当金 (円)	—	—	—	—	—	—
1 株当たり純資産 (円)	312.42	253.31	183.24	103,630.33	106,250.78	84,319.83

(単位：百万円)

5. 株式交換後の状況

(1) 名 称	株式会社小僧寿し
(2) 事業内容	寿し、弁当の製造販売、ならびに小僧寿しのフランチャイザーとして 加盟者に対する原材料の供給と指導
(3) 本店所在地	東京都中央区築地三丁目 9 番 9 号
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 木村 育生
(5) 資本金の額	1,598,501,170 円
(6) 総 資 産	6,416 百万円 (連結)
(7) 純 資 産	2,373 百万円 (連結)
(8) 事業年度の末日	12 月 31 日

6. 会計処理の概要

本株式交換は、共通支配下の取引に該当する見込みです。

7. 今後の見通し

海鮮丸は、当社の連結子会社であることから、本株式交換による当社及び海鮮丸の業績への影響は、いづれも軽微であると見込んでおります。

(参考) 当期連結業績予想 (平成 24 年 7 月 27 日公表分) 及び前期実績 (百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (平成 24 年 12 月期)	20,649	216	239	3
前期実績 (平成 23 年 12 月期)	20,447	△140	△91	△907

以 上